



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ステラケミファ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,140	11.9	996	53.9	955	59.6	630	57.8
2019年3月期第2四半期	19,458	16.4	2,159	18.3	2,367	39.4	1,494	45.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 309百万円 (76.3%) 2019年3月期第2四半期 1,305百万円 (29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.85	
2019年3月期第2四半期	115.73	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	52,177	33,850	63.1	2,550.42
2019年3月期	55,454	33,918	59.2	2,541.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 32,935百万円 2019年3月期 32,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		25.00	45.00
2020年3月期		22.00			
2020年3月期(予想)				23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	1.5	2,450	30.5	2,550	33.1	1,700	27.7	131.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,213,248 株	2019年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	299,667 株	2019年3月期	300,267 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	12,913,204 株	2019年3月期2Q	12,913,063 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内における景況感は製造業を中心に慎重な見方が続き、米中貿易摩擦をはじめ、各国政府の保護主義政策の加速による景気減速懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第2四半期連結累計期間の業績におきましては、半導体市場が活況であった前年同期に比べ、米中貿易摩擦や韓国に対する輸出管理強化などを背景に半導体液晶部門の輸出販売が減少したことにより、売上高は171億40百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

利益面におきましては、主要原材料の無水フッ酸価格が前年同期に比べ低下し、売上高減少の影響を一部吸収したものの、営業利益は9億96百万円（同53.9%減）となりました。また、原材料購入における為替リスクへのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前年同期に計上したデリバティブ評価益3億48百万円が、当第2四半期連結累計期間ではデリバティブ評価損1百万円を計上したことから、経常利益は9億55百万円（同59.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億30百万円（同57.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて36億11百万円（11.7%）減少し、272億46百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が10億2百万円、受取手形及び売掛金が21億22百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億34百万円（1.4%）増加し、249億30百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が86百万円、無形固定資産が68百万円、投資その他の資産が1億78百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は521億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億77百万円減少しました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31億49百万円（24.9%）減少し、94億93百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が9億51百万円、設備関係支払手形が6億85百万円、未払法人税等が6億72百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて59百万円（0.7%）減少し、88億33百万円となりました。主な要因は、長期借入金が2億69百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、183億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億9百万円減少しました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は338億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金が2億38百万円増加し、繰延ヘッジ損益が66百万円、為替換算調整勘定が71百万円、非支配株主持分が1億94百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は63.1%（前連結会計年度末は59.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありませんが、2019年7月4日より開始となった韓国への半導体材料に係る輸出管理強化による2020年3月期連結業績への影響は、現在精査中であり、今後状況が判明し、業績見通しに修正が生じる場合には速やかにお知らせします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,044	13,042
受取手形及び売掛金	9,678	7,556
商品及び製品	2,903	2,698
仕掛品	1,547	1,568
原材料及び貯蔵品	1,732	1,562
その他	970	833
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	30,857	27,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,987	6,658
機械装置及び運搬具（純額）	6,043	5,579
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	2,016	2,831
その他（純額）	1,814	1,878
有形固定資産合計	22,329	22,415
無形固定資産		
その他	565	633
無形固定資産合計	565	633
投資その他の資産		
その他	1,720	1,899
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,702	1,881
固定資産合計	24,596	24,930
資産合計	55,454	52,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	2,061
短期借入金	1,930	1,920
1年内返済予定の長期借入金	2,281	2,053
未払法人税等	1,186	513
賞与引当金	376	366
その他	3,855	2,578
流動負債合計	12,642	9,493
固定負債		
長期借入金	6,857	6,587
退職給付に係る負債	845	857
役員退職慰労引当金	561	580
資産除去債務	507	507
その他	122	300
固定負債合計	8,893	8,833
負債合計	21,536	18,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	21,098	21,337
自己株式	△496	△495
株主資本合計	32,585	32,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	44
繰延ヘッジ損益	—	△66
為替換算調整勘定	203	131
その他の包括利益累計額合計	236	109
新株予約権	8	21
非支配株主持分	1,088	893
純資産合計	33,918	33,850
負債純資産合計	55,454	52,177

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,458	17,140
売上原価	15,144	13,938
売上総利益	4,314	3,201
販売費及び一般管理費	2,154	2,205
営業利益	2,159	996
営業外収益		
デリバティブ評価益	348	—
持分法による投資利益	—	40
その他	86	53
営業外収益合計	435	93
営業外費用		
支払利息	20	18
為替差損	—	79
持分法による投資損失	191	—
その他	15	36
営業外費用合計	227	134
経常利益	2,367	955
特別利益		
固定資産売却益	10	31
その他	0	—
特別利益合計	11	31
特別損失		
固定資産廃棄損	28	72
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	28	73
税金等調整前四半期純利益	2,350	914
法人税等	838	461
四半期純利益	1,512	452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△178
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,494	630

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,512	452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	12
繰延ヘッジ損益	△8	△66
為替換算調整勘定	△146	△98
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	10
その他の包括利益合計	△207	△142
四半期包括利益	1,305	309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,302	504
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△194



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,350	914
減価償却費	1,579	1,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△45	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	12
受取利息及び受取配当金	△8	△10
支払利息	20	18
為替差損益 (△は益)	109	△0
持分法による投資損益 (△は益)	191	△40
有形固定資産除売却損益 (△は益)	17	41
デリバティブ評価損益 (△は益)	△348	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△145	2,065
たな卸資産の増減額 (△は増加)	359	333
仕入債務の増減額 (△は減少)	△408	△891
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△350	85
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△89	△79
未収消費税等の増減額 (△は増加)	91	17
未払消費税等の増減額 (△は減少)	237	△289
その他	72	40
小計	3,636	3,867
利息及び配当金の受取額	8	10
利息の支払額	△20	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△416	△1,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,209	2,757
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△124	△169
定期預金の払戻による収入	141	1,749
有形固定資産の取得による支出	△1,683	△2,733
有形固定資産の売却による収入	12	51
無形固定資産の取得による支出	—	△67
投資有価証券の取得による支出	△0	△96
その他の支出	△215	△80
その他の収入	16	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,854	△1,294

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	△10
長期借入れによる収入	3,400	800
長期借入金の返済による支出	△1,768	△1,297
リース債務の返済による支出	—	△12
配当金の支払額	△272	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,459	△844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,671	583
現金及び現金同等物の期首残高	8,930	12,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,601	12,741

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上していません。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他(純額)」が134百万円増加し、流動負債の「その他」が24百万円および固定負債の「その他」が151百万円増加しています。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。また、利益剰余金の当期首残高は66百万円減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,199	2,159	—	19,359	99	19,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,778	—	1,778	96	1,874
計	17,199	3,938	—	21,137	195	21,333
セグメント利益又は損失(△)	2,220	413	△505	2,128	21	2,149

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,128
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	2,159

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,783	2,241	—	17,025	115	17,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,476	—	1,476	109	1,585
計	14,783	3,717	—	18,501	224	18,726
セグメント利益又は損失(△)	1,268	244	△536	976	16	992

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	976
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	996

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。